

岡谷市議会 6 月定例会一般質問要旨について（生涯学習課分）

○今井 義信議員

2 岡谷市の歴史、文化の伝承及び保存への取り組みについて

（2）岡谷市史の編さん



主 務	主 幹	館 長	課 長	部 長	教育長

◇ 今 井 義 信 議員

2 岡谷市の歴史、文化の伝承及び保存への取り組みについて

(2)岡谷市史の編さん。

平成29年第5回岡谷市議会定例会の一般質問で、大塚議員より、岡谷市史編さんについての一般質問がなされました。その中で、現在の状況に対し「具体的な体制の検討までは至っておりませんが、周年等、行事の節目に合わせて、市全体で、また行政を挙げて取り組まなければならない大切な事業であり、方向性について考えてまいりたいと思っております」といった市長さんの丁寧な答弁がなされていますが、現在までの検討の状況をお伺いします。

○教育部長（白上 淳）答弁

岡谷市の歴史、文化の伝承及び保存への取組についての(2)岡谷市史の編さんについてお答えいたします。

岡谷市史につきましては、昭和48年に上巻、昭和51年に中巻を発行後、昭和57年に下巻を発行してから39年が経過しており、新岡谷市史の編さんに着手する時期に来ているものと考えております。現在、教育委員会が中心となり、市史編さんに向けたスケジュールや組織体制、市史編さん室の設置などについて関係部署と協議を進めております。その中で出された意見等を参考に、現在、市史の編さんを進めている他市の状況を視察させていただき、岡谷市としてどのように進めていくか調査研究を行っているところであります。

今後は今まで蓄積してきた資料の整理を行うとともに、まずは市史編さんの体制づくり等の準備を進め、周年等、行政の節目に合わせた市史の発刊に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

今 井 義 信 議員（2回目）

市史を編さんすることについて、以前質問された大塚議員も危惧されておりましたが、資料や記録が散逸してしまうことであります。私も幾度となく資料や記録の散逸については質問をしてきました。このことについて、答弁では、市史編さん上重要なものに関する文書は永久保存とされております。また、10年の保存期間を経過した文書を廃棄する際には、歴史的・学術的資料として価値があると認められる文書は、生涯学習課に連絡をし、別途保管をするといった答弁がありました。この間、実際にどの程度の連絡が生涯学習課にあったのか、また、歴史的・学術的資料として価値がある文書であるのかの判断は誰がされているのかをお伺いをいたします。

○教育部長（白上 淳）答弁

歴史的・学術的資料としての価値があると認められる文書につきましては、その多くが永年保存となっておりますが、保存年限のある文書の中にも重要なものがございまして、そうした文書については、岡谷市文書管理規則の規定によりまして、廃棄の際、総務課長が教育委員会と協議をして、協議が整った文書につきましては、教育委員会が

保存をするということになっております。

なお、ここ数年で協議に至った文書は2件ございまして、いずれも教育委員会で今保存をしているところでございます。教育委員会での資料の保存につきましては、まず分野ごとに分類をした後、保管一覧表を作成し、保存をしております。現在、昭和49年から平成30年度までの約1,600件の資料が生涯学習課分室に保管をされております。

また、歴史的・学術的資料の判断につきましては、生涯学習課文化財担当の職員と専門的知識を持った会計年度任用職員が内容を精査するとともに、必要に応じて文化財等の専門家に確認を取るなど、適切な保存に努めているところでございます。

#### 今井義信議員（3回目）

歴史的・学術的な資料の散逸を防ぐために、専門的な知識を持った学芸員の雇用が必要ではないかと思いますが、市の考えをお伺いいたします。

#### ○教育部長（白上 淳）答弁

現在は生涯学習課文化財担当の職員と専門的知識を持った会計年度任用職員に加えて、外部の有識者としてしっかり連携を取りながら、資料の収集や適切な保存を行っているところでございます。しかしながら、市史編さんに当たっては膨大な資料となることを見込まれますので、そういった歴史的・学術的資料の散逸を防ぐためにも、学芸員に限らず、専門的知識を持った方の雇用など、市史編さんに向けた体制を整えながら、貴重な資料の記録保存に努めてまいりたいと考えております。

#### 今井義信議員（4回目）

とても大事なことだと思います。学芸員に限らず、専門知識を持った職員配置、資料の記録保存に努めるといったことだったと思います。ぜひ散逸防止に努めていただきたいと思います。

岡谷市の貴重な歴史、文化の財産を守るために、専門的知識を持つ学芸員の雇用を真剣に考えるべきときであると思います。今後、編さんに向けての組織体制の考え方についてお伺いをいたします。

#### ○教育部長（白上 淳）答弁

市史編さんにつきましては、教育委員会が中心となって進めることが決まっておりますが、具体的な組織体制につきましては、今後、庁内で協議をする中でしっかりと決定をしてみたいと思いますので、よろしくお伺いいたします。

#### 今井義信議員（要望）

具体的な組織体制はこれから調整といったことだったと思います。分かりました。体制が整わなくてもできることはたくさんあります。ぜひ今からでも資料の収集、記録、保存を行ってください。

大きな2番への要望を申し上げます。

岡谷市史編さんについて、平成29年に同僚議員の質問があり、もうないだろうと思いながら古書店を探しました。手入れのいい古書を手に入れました。上・中・下巻合わせて3,000ページ余りを半年かけて読みました。前の所有者はこの市史を丁寧に大切に扱われ、訂正箇所が数か所ほど手書きされていました。

市制施行30周年記念の市史編さんについては、計画から10年余りの時間が必要でした。市制施行100周年に当たり、新たな市史を刊行するのであれば、早急にロードマップを検討していただき、ぜひ早めに編さん室だけでも立ち上げてください。歴史的な価値のある資料は一度失えば二度と見ることはできません。この次刊行されるであろう岡谷市の中の項目として、自然や民俗学についても記載していただけるよう提案をし、私の一般質問を終了いたします。ありがとうございました。